



令和8年度 猪名川町立猪名川中学校

めざす生徒像

学力向上プラン

- ・自ら考え、判断し、責任ある行動ができる主体的な生徒
- ・自他の命と人権を尊重し、相手の身になって関わることができる生徒
- ・学校や猪名川町、そして世界をよりよくするために、他者と協働して主体的に取り組む生徒（行事・委員会・係活動・清掃等に誠実に取り組む）
- ・自ら課題を見だし、粘り強く挑戦し続ける生徒

私たちがめざす学校

『未来(あす)を生きる人間力が育つ学校』＝「明日も来たくなる猪名中！」
～一人一人が自ら考え、判断し、行動する「主体性」を発揮しながら、安心して挑戦できる学校～
□自律 □尊重 □協働 □創造

令和8年度の「学力向上プラン」を以下のとおり定め、本校における全ての教育活動を通じて、全職員が一丸となって全校生徒の学力向上に取り組めます。

【本校全体の学力向上に向けた課題】

- ・受動的に受ける授業から、主体的に受ける授業へ転換するために、生徒と教師が共に学ぶ意味を探究する姿勢
- ・自分自身が考えていること、感じていること、わからないことを「言語化」することへの苦手意識
- ・「わかる」「できた」を実感できる授業を展開した上で、「自ら学ぶ姿勢」を育むための家庭学習の定着

主体的に学習に取り組む態度の醸成

- ① 「協同的探究学習」を推進し、他者と対話しながら問題を解決しようとする力を育てる。
- ② 他者の発表を観点ごとに客観的に評価し、その良いところを自身の学習に活かす力を育てる。
- ③ 学習したことを、日常生活の中で活用しようとする態度を育成する。
- ④ 他者と協働して課題に取り組む活動をこまめに設定し、仲間とともに学び合う姿勢を育む。
- ⑤ 学習による自身の変容をふりかえる機会を設け、学ぶ喜びを実感させる。
- ⑥ 学ぶ意義や価値を生徒と教師が共に探求する。

「言語活動」の充実

- ① 朝読書を実施し、活字に親しむことを習慣化させる。
- ② 図書室の整備を推進し、貸し出しを増やすことによって読書活動を活性化する。
- ③ 学活、総合の時間を中心に、年度初めはエンカウンタープログラムにより、生徒同士に交流することの楽しさを体感させ、年度末には、修了宣言の発表を行うことで、自他の成長を認め合う場とする。
- ④ 行事ごとの振り返りで、自らの体験をことばで表現する取り組みを推進する。
- ⑤ 道徳や総合の時間を中心に、テーマに沿った話し合いを行うなどそれぞれの立場に合った意見の組み立て方を学ぶことを進める。
- ⑥ 学校生活のあらゆる場面で、望ましい会話や言葉遣いについて指導する。
- ⑦ 教員がコミュニケーションスキルについての研修を深め、言語による伝えあいによって生徒間の相互理解の深化をはかる。

「わかる」「できた」を実感できる授業の展開

- ① 授業において「本時の目標」と「本時の流れ」を提示し、視覚的にわかりやすい教材や板書の工夫に力を注ぐことで、授業のユニバーサルデザイン化を更に推進する。
- ② 毎授業における「振り返り」の時間を確保することで、要点の定着を図る。
- ③ 生徒のニーズも高く、学習意欲を高めるためにも、ICT機器を活用し、わかりやすい授業の工夫をする。
- ④ 集中しやすい教室環境を整えた上で、学習規律を伝え、どの生徒にとっても落ち着いて参加できる授業を目指す。
- ⑤ 個々のつまづきを早期発見するための方策を行い、その結果を授業の進め方にフィードバックしていく。
- ⑥ 兵庫型学習システムによる少人数（ハーフサイズ）授業や同室複数指導を最大限に活用し、きめ細かい学習指導に力を入れる。
- ⑦ サポートの必要な生徒に放課後学習の場としての「学び舎 いなちゅう」の充実を図る。

「家庭学習」の充実

- ① 保護者と連携し、起床・就寝時刻を含めた規則正しい生活リズムの確立を図る。
- ② 携帯電話（スマホ）やゲーム機器等の使用について、情報リテラシーの意識の浸透を図り、家庭内での約束ごとの大切さを保護者にも伝える。
- ③ テレビやゲームなどに費やす時間を決める。
- ④ 新聞やニュースに目を通すことや、家庭での話題にも取り上げることで、政治や社会の問題について関心を持てるようにする。
- ⑤ 学校生活や友人について、また今子どもが興味を持っている分野について等、家庭で出来る限り時間を取って、話し合うことの必要性を呼びかける。

【国語】

- ・グループワーク等の活動を通して、主体的に仲間と学び合いながら、話す・聞く・読む・書く力を伸ばす。
- ・集中力を持続させるため、いくつかの活動を組み合わせ、楽しみながら成長できる授業を展開する。
- ・個々で考える時間を確保し、思考の変化や学びを、振り返りの中で実感できるように働きかける。

【数学】

- ・基礎計算力の定着と主体的に学びに向かう力の向上を目指す。
- ・理論立てて考える力をつけられるような課題を設定する。
- ・過去の学習を生かして取り組める機会の設定をする。
- ・教具やデジタル機器などを活用し、体験的な活動を取り入れた、わかる授業づくりをおこなう。
- ・個々で考える時間の確保、対話的な学習などで、主体的に学び合う授業を展開する。

【社会】

- ・18歳成人となる現代で、自ら得た知識を活用し、判断する力やそれらをもとに、議論したりする力をつける。
- ・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり、諸資料からの情報を分析し、まとめる技能を習得する。

【理科】

- ・教科書・図版、VTRだけでなく、本物体験（観察・実験）を通して、主体的に学習する意欲をはぐくむ。
- ・反転学習や日々の教えあい活動、単元自由研究を通して、主体的に学習する意欲をはぐくむ。
- ・単元自由研究における探究活動と発表活動を通して、課題解決能力を身につける助けとする。

【英語】

- ・語彙力の向上と基礎・基本（文法）の定着を目指した主体性の育成。
- ・自分の考えを相手に伝える自己表現力の育成。
- ・聞き手、読み手のことを考えたコミュニケーション能力の育成。
- ・自国の文化を伝えたり、国際理解に努める姿の育成。

【音楽】

- ・生徒一人ひとりの個性を尊重する中で、得意、不得意にかかわらず、皆が輝ける学習環境をつくる。
- ・他者理解をする環境の中で、一人ひとりが主体的に頑張れる環境をつくる。
- ・仲間との意見・演奏交流を通して、互いの良いところに気づき、言語化し伝え表現する力を伸ばす。

【美術】

- ・自分自身で主題を強くイメージしやすい題材を設定する。
- ・意見交流をする時間を取り入れ、お互いの良いところに気づき、言語化して伝える力を伸ばす。
- ・仲間の作品を鑑賞し合うことで、自分のイメージを広げ、自身の作品に足りないものを感じるなど、自分自身の作品をより深められる機会をつくる。

【保健体育】

- ・「教え合い学習」を通して、運動に対する思考力を高め、技能の理解を深める。
- ・ICT 機器を活用し、技能のポイントや学習の振り返りなどを自らのペースで進めていける環境をつくる。
- ・生徒が「わかる」「できた」を実感することで、自らスポーツに関わる姿勢を育む。

【技術家庭科】

- ・生活や地域・社会における課題を見出し解決するため、生活を工夫し創造する資質・能力の育成を目指す。
- ・これからの生活を展望し、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察した様子を論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。